



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

# クールリブラ

講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文/カジ

文化祭って響きだけでなんだかワクワクするけど、結局は何にも起きずに終了する悲しいメロディ。

文化祭。その言葉に潜む青春期の魅力のようなものには焦られる。カジ高でも当然文化祭があり、この文化祭というものに何か具体的には表現しにくい淡い期待を抱いていた高1のカジであった。

6月に行われるカジ高の文化祭は、1、3年生が縦のラインでチームを編成（1年2組、2年2組、3年2組で1チームのな）し、学年を超えて一つの目標に向かって汗を流すといった、まあどこにでもありがちな文化祭の形態であった。各チームで応援合戦、合唱、マスコット作り、団体パフォーマンス、この4つのジャンルにそれぞれが分かれて取り組む。

リアルカジ、中学の同窓会が開催される！

先日、中学の同窓会が開催されたのな。卒業以来、実に20年ぶりぐらいのやつだ。一見、へえっていう話だが、カジの場合は違う。中学といえば、ご存知千絵ちゃん。同窓会といえば、その千絵ちゃんと再会できる唯一ともいえるチャンスなのだ。その詳細は… ネタに困った号の時にでも本文中で書いていこうと思うので、柿の種を食べながら待て！

## 「原住民役は1年のカジくん！」

原住民!?なにそれ? シナリオには書いてなかったけど…

「思ったより参加者が多かったの、  
適当に役を追加しました」

追加しましたって緩いなおい。しかも適当にって、完全にいらん役やん。まさかの原住民役となったカジ。やるからには原住民で笑いを取ってやるうじやないか。

当時のカジは「どうせなら目立つことをしたい」という実に頭の悪い考え方のもと、合唱とマスコット作りは地味、応援合戦もうんって感じで、消去法で団体パフォーマンスを選択した。団体パフォーマンスが実際に何をやるのか全くわからなかったが、パフォーマンスって響きは悪くないしちよつと楽しそう。

4月下旬の初顔合わせ。3年生が主導となり、団体パフォーマンスを作り上げていくのだが、どうやら体育館でおもしろ劇っぽいことをやるらしい。3年のリーダーから手書きで書いたシナリオ的なやつが早速配られる。すかさず読む！

「んあ!？」

主人公の太郎くんが世界中を飛び回る物語なのだが、ストーリーが意味不明なうえ、全く面白くない。大丈夫なのかこれは？「僕たちが練りに練って完成させたものなので、みんな真剣に演じてください」

リーダーが自信満々にアナウンス。マジか、練りに練ってこれなのか。これじゃあスベリ確定だぞ。続けて参加者に配役が言い渡される。太郎役は3年の○○さん、彼女役は○○さん。なるほど、メインキャラトは3年生が総なめにしてくわけだね。まあ順当なところだよな。

